

令和3年度
足立区青少年委員会
ブロック教育懇談会記録

足立区青少年委員会

目 次

1 ブロック	中止
2 ブロック	中止
3 ブロック	1 ページ
4 ブロック	3 ページ
5 ブロック	8 ページ
6 ブロック	14 ページ
7 ブロック	中止
8 ブロック	中止
9 ブロック	中止
10 ブロック	17 ページ
11 ブロック	中止
12 ブロック	20 ページ
13 ブロック	24 ページ

令和3年度 足立区青少年委員会 第3ブロック教育懇談会

開催日	令和3年11月26日	会場	西新井小学校ランチルーム
時間	18時30分～19時45分		
参加者	足立区教育委員会 青少年課 青少年委員会 興本扇学園 本木小学校 寺地小学校 第六中学校 西新井小学校 西新井第一小学校 第五中学校	課長 下河邊 純子 様 会長 多島 三好 様 稲葉 守朗 校長先生 市川 一 PTA会長 木島 俊江 青少年委員 藤田 曉美 校長先生 高橋 徳行 青少年委員 立野 豊 校長先生 阿出川 忍 青少年委員 鵜飼 康成 校長先生 本橋 真弓 PTA会長 加納 和彦 校長先生 小野 昌晃 PTA会長 丸山 昌子 青少年委員 武藤 浩司 校長先生 高城 純 PTA会長 石鍋 浩 青少年委員 石井 秀生 校長先生 内山 勉 PTA会長 土方 紀昌 青少年委員 (計20名参加)	
会議次第	(司会 丸山青少年委員) 1 青少年委員会第3ブロック挨拶 木島ブロック長 2 青少年委員会挨拶 多島会長 3 来賓紹介 司会 4 テーマ発表 各学校 5 コロナ禍での教育委員会の現状をお話頂く 下河邊課長 6 閉会のことば 石鍋青少年委員		
テーマ	『コロナ禍での各校の現況について』		

[懇談会記録]

第3ブロックでは令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催ができませんでしたが、令和3年度については感染対策を十分に考慮し、西新井小学校のランチルームをお借りして各校の校長先生、PTA会長、青少年委員（出席者20名）で行いました。

最初に青少年委員会の多島会長から御挨拶をいただき、その後、各校自己紹介とテーマ『コロナ渦での各校の現況について』を校長先生よりお話していただきました。各校共通の新型コロナウイルス感染症予防対策としては

- ・正しい手洗い
- ・検温・換気の徹底
- ・ソーシャルディスタンスの確保を徹底するための取組み・新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、児童・生徒達が自ら身を守る力を付けさせるための教育
- ・Zoomを活用した施策（運動会の様子をZoomで保護者へ配信等）
- ・水道の蛇口をレバー式へ変更
- ・タブレットの導入
- ・リモート授業
- ・分散登校

などの紹介がありました。

各校長先生からのお話の中で、「期間の短縮等はありませんでしたが、宿泊行事が再開できた事で、普段では見られない生徒の一面を見る事ができ宿泊行事の大切さを感じました」というお話が最も印象に残りました。

最後に青少年課の下河邊課長よりコロナ渦での教育委員会の現状をお話しいただき閉会となりました。

短い時間ではありましたが貴重な情報交換ができました。新型コロナウイルス感染症の影響で活動もできず、お会いする機会もほとんど無い状況でしたので、今回の教育懇談会で久しぶりに顔合わせができたことは懇親を深める為にも有意義な会でした。

令和3年度 足立区青少年委員会 第4ブロック教育懇談会

開 催 日	令和3年11月30日	会 場	梅島小学校 ランチルーム
時 間	18:00～19:30		
参 加 者	来賓： 足立区 教育委員会青少年課課長 下河邊 純子様 青少年委員会 多島 三好会長 参加者： 第4ブロック小中学校 校長・PTA会長 第4ブロック青少年委員 9名 (計32名)		
会議次第	1・開会の辞 第4ブロック長 塚本孝子 2・来賓紹介 足立区教育委員会青少年課課長 下河邊 純子様 足立区青少年委員会会長 多島 三好様 3・各校学校長より報告 PTA会長一言 4・講評 足立区青少年委員会会長 多島 三好様 5・閉会の辞 足立区青少年委員会副会長 川下 勝利様		
テ ー マ	「コロナ禍における学校の様子について」 第4ブロック内各学校長とPTA会長各位報告		
<p>【懇談会記録】</p> <p>今年度第1回目は、『コロナ禍における学校の様子について』という事で各校学校長の皆様より、ご報告をいただきました。この状況下にあつての各校の新たな取り組みや、仕組みづくりなど、或いは子供たちの様子についてお話をいただきました。</p> <p>以下に学校ごとの報告内容を記します。</p> <p>◆―― 足立区立栗原小学校 ――◆</p> <p>田中 泰徳校長：</p> <p>足立区で1番小さな学校です。ICTが入り1人1台の端末をほとんど毎日活用しています。とは言え、機械に頼らず顔を突き合わせて、今までやってきたことをしっかりやっていきたいと思えます。去年、実施できなかった日光自然教室、鋸南自然教室も再開でき、わずかな時間でしたが子供たちにとっては貴重な体験となりました。</p> <p>感染対策もしっかり行いながら、より良い学校にしていきたいと思えます。</p> <p>遠藤 邦昭PTA会長：</p> <p>なかなか学校へ入るきっかけが無く様子が分かりませんでした。</p> <p>登校の見守りの中で4月頃はうつむき加減だった子供たちが、10月には元気な挨拶が返ってくるようになりました。</p> <p>◆―― 足立区立島根小学校 ――◆</p> <p>渡辺 円校長：</p> <p>60周年の式典を12月1日に人数を縮小して開催します。11月11日には子供たちの記念集会を行いました。学年ごとにテーマを決めて、調べた事を体育館で代表の子が発表しました。</p>			

全校が一堂に集まったのは避難訓練の時だけです。子供たちは黙食を守っています。

横田 光慶 PTA 副会長：

自分はサッカーを子供たちに教えているので、この自粛によって子供たちの体力の低下が明らかで何とかしたいと思っています。

◆―― 足立区立梅島小学校 ――◆

篠 達司校長：

コロナ禍で力を入れてきた事は、保護者の不安を取り除きたいと言うことです。そのために情報発信をして、『今こんなことをしています』、『こんな様子ですよ』とメールやブログを配信しました。行事では、保護者の皆様のお手伝いが欠かせませんでした。

高橋 若葉 PTA 会長：

ソーシャルディスタンスのため遠足の引率や誘導等のフォローが増えました。

◆―― 足立区立梅島第一小学校 ――◆

君塚 清春校長：

感染対策を万全に行ってきた10月から感染者が減ってきて子供たちも喜んでいきます。日光自然教室では6年生の体力低下を感じました。授業の公開は教室ではなく、体育館などで実施しています。

山張 美佐 PTA 副会長

母として様子を見てみると、何かと制限が多く、バスの車中も声を出さないでなどの様子が忍びなかったです。

◆―― 足立区立梅島第二小学校 ――◆

竹花 正徳校長：

コロナ禍でできる事を模索していこうと、クラスを半分に分けて調理実習を行ったり、リコーダーで指の練習だけしたりなどしました。日光鋸南自然教室も再開しました。

5年生は何を大事にするか？ 6年生は誰かのために動こうなどをキーワードにして、宿泊体験を行ったり、学校なりに努力をして、楽しみながら学校生活を送っています。

西倉 隆雄 PTA 会長：

去年できなかった事が今年は出来るようになり良かったです。PTA は学校の手助けをしていきます。

◆―― 足立区立関原小学校 ――◆

世取山 哲哉校長：

去年は行事ができなかった。今年6月に運動会を実施。各学年ごとの開催とし、トロフィーも6個購入しました。一つ一つの行事に、子供たちの生き生きとした姿に行事の持つ力は凄いと感じています。また授業公開をブログで発信しました。(閲覧数が7400件を超えました)。

保護者の方にとっての情報が大事だと感じました。

高橋 要 PTA 会長：

学校と保護者との繋がりが無い。PTA は繋がりを担っているので色々考えたいです。

◆—— 足立区立亀田小学校 ——◆

大井 欣一校長：

区内で2番目に児童数が多い学校です。すべて新しい考え方で、やれる事は何でもやる思いです。授業参観が学校へ来てもらえないので、オンラインで公開しています。

熊切 秀樹 PTA 会長：

自肅は他の学校と同じです。PTA で図書室のパーティションを購入しました。

子供たちが楽しそうに生活しているのを見かけると、感染率の低さは学校のおかげと感謝していません。

◆—— 足立区立第七中学校 ——◆

柏木 圭子校長：

コロナ禍の様子は他校と同じです。魚沼(移動教室)が10月から再開され、夜は全員の催しを設けずに、何も無しでゆっくりそれぞれのグループで遊ばせました。

『友達とたくさん話せて嬉しかった』、『友達のマスクをしていない顔初めて見た』等楽しんでいました。

岸 修一 PTA 会長：

魚沼へ行った息子がとても楽しかった、とにかく楽しかったと帰ってきました。

1つの家庭がPTAに入りません宣言しています。

PTAの存在意義が問われていて役員と話し合い中です。

◆—— 足立区立第九中学校 ——◆

佐藤 豊校長：

1年生が元気過ぎてどう落ち着かせるのか?上級生の力は凄いと感じた。

3年の2クラスと1年の2クラスを体育館で顔合わせしたり、生徒は上級生の姿勢を感じていると思いました。

先日、全校で避難訓練ができました。卒業の時に九中で良かったと思って欲しい。

河原 淳 PTA 会長：

九中は部活動がとても盛んで、今も校庭も体育館も電気がついていて、生徒でいっぱいでした。

PTAは委員活動ができていません。広報委員会と卒対のみ活動していて、新しい形のPTAを目指したいです。

◆—— 足立区立第十中学校 ——◆

田村 和夫校長：

生徒たちは感染対策をしながら勉強をがんばっています。10月に修学旅行へ行けてよかったです。外国人もいなくて、観光客も少なく、京都の素晴らしさを堪能できたと思いました。

全校で初めての朝礼で反応が見えました。集団生活の中での忍耐力が養えていない、それを身につけさせたいと思います。

山下 亘彦 PTA 会長：

主なPTA活動ができていない。

先生方には心から感謝したいです、そばで力になっていきたいです。

★----- まとめ -----★

今回の懇談会で色々な状況が見えてきました、学校側の取り組みや報告としては、

- ・ICTが入り1人1台の端末をほとんど毎日活用しています。
- ・子供たちは黙食を守っています。
- ・コロナ禍で力を入れてきた事は、保護者の不安を取り除くために様々な情報発信をしてきました。
- ・日光自然教室では6年生の体力低下を感じました。
- ・コロナ禍でできる事を模索していこうと、クラスを半分に分けて調理実習を行ったり、リコーダーで指の練習だけしたりなどしました。
- ・運動会を実施しました。各学年ごとの開催とし、トロフィーも6個購入しました。一つ一つの行事に、生き生きとした子供たちの姿に行事の持つ力は凄いと感じています。
- ・授業公開をブログで発信しました。(閲覧数が7400件を超えました)。
- ・授業参観が学校へ来てもらえないので、オンラインで公開しています。
- ・魚沼(移動教室)では、夜は全員の催しを設けずに、何も無しでゆっくりそれぞれのグループで遊ばせました。『友達とたくさん話せて嬉しかった』。『友達のマスクをしていない顔初めて見た』等楽しんでいました
- ・集団生活の中での忍耐力が養えていない、それを身につけさせたいと思います。

と言ったお話がありました。

また、保護者の観点からは、

- ・4月頃はうつむき加減だった子供たちが、10月には元気な挨拶が返ってくるようになりました。
- ・この自粛によって子供たちの体力の低下が明らかで何とかしてあげたい。
- ・魚沼へ行った息子がとても楽しかった、とにかく楽しかったと帰ってきました。

と言ったお話がありました。

懇談会を終えて

コロナ禍において学校は多くの制約を与えられてしまっている状況下で、少しでも子供たちの為に、或いは保護者の為にと様々な取り組みに工夫を凝らし対応し、日々頑張ってくださっている状況が良く分かりました。

ただし、子供たちは、学校では『黙食を守っている』、『リコーダーで指の練習だけ行う』、『体力低下を感じました』、『集団生活の中での忍耐力が養えていない』と言った心配な声が多く聞かれる様に、様々な場面において、我慢を強いられている事が多いようです。たまりにたまってしまっているストレスや集団生活を通して養える力が養えない等、早期に対応してあげなければならない問題点が山積みな状況も、改めて認識する機会となりました。

私たち青少年委員も学校と協力して、子供たちの為に少しでも力になれる活動を進めていかなければならないと強く感じた懇談会でした。

★当日の懇談会会場の様子です。

◆足立区青少年委員会 多島会長の講評の様子◆



◆中学校からの報告◆

◆小学校からの報告◆

以上

令和 3 年度 足立区青少年委員会 第 5 ブロック教育懇談会

開催日	令和 3 年 11 月 5 日	会場	足立小学校地域連携室
時間	18:00~19:30		
参加者	第四中学校、第十一中学校、弥生小学校、弘道小学校、弘道第一小学校、足立小学校 各校校長・PTA 会長・青少年委員 足立区教育委員会子ども家庭部青少年課 下河邊課長 青少年委員会 多島会長、高橋副会長 合計 19 名		
会議次第	開会の辞、会長挨拶、教育委員会挨拶、来賓紹介、 各校紹介、懇談会、総括・講評、閉会の辞		
テーマ	コロナ禍における子供たちと教育現場の現状		

[懇談会記録]

1. 開会の辞 足立区青少年委員会第 5 ブロック長 佐藤 健二 委員
 コロナ禍における最近の活動状況
 新任委員の存在も含めて今後の青少年委員としての活動について学校長、PTA 会長の協力を依頼
 子供たちの心配点の件について問題提起
 進路、学業、学校問題に関わる悩みに触れる機会が多い
 ↳学校行事の中止、コロナ自粛の長期化が心身を疲弊させているのでは？
 ↳オンライン授業によるストレスなども想像する
 学校教育現場の現状や対策について短い時間だが紹介いただきたい
2. 会長挨拶 足立区青少年委員会会長 多島 三好 委員
 地域学校との話題提起
 行事ができない、地域活動ができないなど行動が思うようにできない状況があり青少年委員活動自体も停滞している
 今後行事が増加して行くことを期待している
 それぞれの地域学校の子供たちのための活動をしたい
 できるだけ明るい話題を作りたい
3. 教育委員会挨拶 足立区教育委員会子ども家庭部青少年課長 下河邊 純子課長
 日常の教育委員会への協力と子供たちを育む活動に感謝
 2 年ぶりの懇談会開催にお祝い
 コロナ陽性者の落ち着きもあるが今後の第 6 波の可能性もあり気を緩めることなく対策に取り組む必要性を感じている
 全生徒児童にタブレットの配布 8 月に完了
 青少年課としてもリモート業務に様変わりしているが、子供たちには実体験が大事と考えている
 人との関わり成功と失敗の体験を重ねて心身を育むと思って進めている
 リモート教育で得られた経験値を活用して、いよいよ実体験の教育が動き出す中、今回の情報共有を通じて委員の立場として、これまで以上に子供たちに声と目をかけてほしい。
4. 御来賓紹介 桑原 里保 委員
5. 懇談会

5-1) 委員から校長、PTA 会長を紹介

5-2) 学校長から各校の現状報告と課題について発表

【足立小】

10月23日運動会 学年別開催 子供たちも保護者も完全満足とは言えないものの久々の集団行事で盛り上がった

先日の校外学習で5年生のキッズニアでの様子を見ていて印象的なシーンとして、校内給食では黙食だが、2、3人の小さい集団でもささやく程度の昼食風景が普段と違って幸せそうであった

12月に2回宿泊行事が予定されている。学習発表会、持久走記録会などもあり対策取組が忙しいが、追われずに追いかけて進めていく所存

【弥生小】

10月24日に学年別に体育授業の成果発表として学年保護者のみに公開で実施

11月に鋸南、12月に日光へ1泊2日で5、6年が宿泊予定

12月土曜授業保護者公開 1クラスを1時限目枠 2時限目枠 というように3つに分割して取り組んでいる

感染者数と陽性者数は減っているがこれまで通りサーキュレーターによる換気、水飲み場のパーティション、人数制限で利用、朝会はりもートも利用して実施、感染対策は従来通り

子供たちは感染もなく元気に過ごしている

【弘道小】

感染者低減で社会が緩和モードだが学校はそうではない

指導課より11月いっぱい感染対策定着期間としてこのまま継続する方針であるが、その中でも感染対策がしっかり実施されていれば校長裁量の認められた範囲があるので模索しながら取り組んでいる

学習面でも制約が多かった

音楽はマスクをつけての歌唱、前に人を並べないで演奏工夫

家庭科調理実習は2人で1台のガス台を使って徹底した消毒

出来る範囲で体験型授業を進めている

自然教室として10月6日に日光1泊2日6年生 10月18日に鋸南5年生 実施済み 発熱の場合は保護者が現地に送迎するというルールで実施したが、1人の体調不良者もなく終えることができた

95%の子供たちが楽しかったと回答しており、不満を感じた児童としては、自分がやりたかった事ができなかった事についての不満といった程度であった

やってみて解った事だが、現6年生は昨年の宿泊活動を体験していないので、今年が初めてだった為、準備、集合、片付けなどの時間が掛かった。やはり5年生の時に体験があれば違うものと感じた。

来年は2泊で実施出来るであろうと期待している。

朝会を久々に校庭に全校集めて実施。今後体育館の集会も実施予定。

音楽会は2学年毎に、入替制で、11月の予定であったが1月に延期となっている

子供たちは感染を気にせずにも多少密になって生活しているが、黙食は徹底されており、先生がちよっかいを出しても「先生黙食！」と言う児童がいる程に徹底されており、複雑な心境である。

【弘道第一】

10月23日に運動会を体育発表会という形で開催

300人ちょっとの児童なので、全児童を校庭に集めて他学年の発表を見学しながら、保護者は学年別に入れ替えながら見学してもらう形で開催ができた。昨年は見ることもできなかったので保護者は喜んでいた。

PTAの協力で都度消毒処理をしたので、感染リスクの無い実施ができた。

学校公開、土曜授業ができなかった去年に比べて子供の様子を見学できる、親に見てもらえると言う経験によって得られる頑張れる体験ができたといえる。

保護者の見学は椅子を置いて間隔をとって配置したが、入れ替えの際にPTAの協力で消毒対応をしてくれたので保護者にとっても安心の対策ができていた。

連合運動会ができない為、各小学校で記録会と言う形での開催。

明らかな違いとして、1000メートル、800メートルと、例年と違って走りきれない児童が多く、体力の低下が著しい、コロナ自粛の影響が大きいと感じた。

そんな中11月13日に持久走（校舎敷地内走）を実施することにした。

少しでも体力をつけるために中休み時間などに校庭を走るが、学年毎に分けて走るなどの対応に当たるため、満足な練習もできない状態ではある。

来週日光宿泊を予定している。寒くなる中なので対策は十分に行なって体験を重視して実施する。

【第4中学校】

コロナ対策は、世の中は緩和の流れだが、教育現場では今まで同様に感染対策を継続している。

水際対策として、登校時間の制限で、開門時間制限しながら迎え入れる活動を継続している。

生徒は入校前に手洗いして昇降口にいる学年教員に毎日カードを提出して（600人）風邪症状の有無を家族を含めて申告して疑わしくは帰宅してもらっている。

カードは保管しており、傾向を調査可能な状態とする。

手洗い、うがいは習慣化しているので継続している。

給食は黙食が徹底されており、10月14日から京都に修学旅行に行った。外国人のいない京都は初めてであった。夕食の黙食の様子に宿のおかみが驚く程であった。

感染予防として部活動毎に感染対策を自ら考えさせる活動をしている。

生徒同士、自らが感染予防、対策を考える機会になっている。

心配な点としてここ1年で変化が出ている状況もある。

600人の全校生徒が集合できない為リモート朝礼が多かったが、徐々に校庭に集合して朝礼をした際に3年生の姿を下級生が見習う機会だと感じた。

先輩の姿を見て身を正す機会が減ってしまった。

優れた考えや行動を起こせる生徒からの刺激が与えられる。

集団の体験の機会を戻していく必要性を感じた。

保護者に運動会などの活動をアピールする機会がなくなってしまったためか、本来なら保護者の目でみて判断する機会がない為、場合によっては教育現場への不満や疑問、ひいては不信感となってしまう懸念があり、例年と比較して質問や要望といった件数が多いと感じる。

子供が感じた様子をそのまま保護者が間接的に認識した情報として、学校ではなく、教育委員会へ伝わるケースも出ている。

教育活動の様子を公開する方法を模索しているがコロナの感染状況に左右される状態が継続しているため思うような保護者公開ができない状態が継続している。

【11 中】

600 人超の生徒が在籍しており、世の中が緩和しても学校現場では気が抜ける状態にない。

11 月 15 日には 2 年生が魚沼に 1 泊 2 日の予定をしており、中間テストも実施予定で、全く気が抜けない状況である。

9 月末に陽性者が発生した際には、区の方では対応強化期間中であつたため、区の指導に従い、所属クラス全生徒に PCR 検査を実施し、陽性者本人は 2 日前に関係した小規模 Gr 活動の同席者も PCR 検査、関連する教員 8 名も PCR 検査することになり、PCR 検査後は結果が出るまで自宅待機を強いられた為、学年教育不在となり、4 日間の学年閉鎖を余儀なくされた。

この経験からこのような事態を起こして子供たちの不安や心配を二度と起こしてはならないという思いで対応に当たっている。

このような状況から保護者が学校に来るような活動は殆ど実施できてない。

運動会も 5 月に学年別実施であつたが、1 学年 200 人の生徒の対策をはかつての実施であり、とても保護者の対応が出来る状況に無いと判断して、残念だが保護者には見学を自粛してもらった。

教育活動を継続するには休校にならないのが大事と考えている。

本年度 11 人の陽性者がいるが全て家庭内感染。

問題を感じている点として、少しでも具合が悪い場合は登校しないようお願いしているが、これが完全に守られていないと感じる。学校で対策しても、このぐらい、ちよつとぐらいという認識の甘さによる影響を危惧している。

修学旅行は区の方針で、行く前、行った後に、抗原検査実施が条件になっている。参加には陰性が条件であり、幸いな事に生徒は陰性で実施できた。

現地で中学校の修学旅行が少なく、小学校の修学旅行が多かつた印象だつた。

昨年度は修学旅行が実施できなかったが本年度は実施できたのが良かった。

地域の方には本校の対策方針に協力をお願いしている状況。

5-3) PTA 会長より

【足立小】

保護者の目線から

イベントができるようになった事は子供たちが生き生きしている点で嬉しく思っている。開催に当たって学校関係者の多大な尽力に感謝している。

コロナ対策として学校と協力して日々の健康チェックと感染対策を水際対策として対応している。

PTA 会活動も子供たちの目線にたった活動を実施しているので、PTA スポーツとしての活動は自粛中。

保護者目線に立つと心配事として、体力の低下が著しい点が挙げられる。

外遊びの機会が減っている点も心配。

第 6 波を意識した、誰でもが利用できるリモート教育の環境整備が大事と考えている。

【弥生小】

70 周年を迎え、実行委員会で活動したいところだが、なかなか思うように進まない現状がある。

個人的には子供たちの事を考えて、小規模活動でできることとして、家庭内イベントを実施している。

PTA としての活動は難しいが、ウィズコロナを子供が楽しめるような生活を意識している。

【弘道第一】

ウィズコロナより、ウィズ子供たちを意識している。

今年オリンピックイヤーであったので11月20日にパラスポーツ体験会を予定してイベントを企画している。

全員参加ではないが、希望児童が参加して、ボッチャ、ポールボール、卓球バレーを体験する企画を進めている。近日中に運営委員会を実施して実現の予定。希望児童150人で実施し子供たちの笑顔を作りたい。

給食の時間で黙食の対策だが、言葉以外のコミュニケーションとして手話を体験するのもいい機会になると考えている。

是非足立スタンダードに手話を入れてはどうかと思っている。

自分自身ができるわけではないが、パラリンピックを通じて、ハンデを持っている選手たちの活躍をみて、心の距離が近づいたこの時期に、こういった手話の学習を教育の現場に入れていくことも、一つの体験の機会になると考えた。

下河邊課長 多様性といった面で前向きに検討し指導課に伝えてみる

前島委員 子供が幼稚園時代に上を向いて歩こうを歌と手話でやっていた体験がある

【第4中】

子供の活動をみる事ができないのが悔しい。

娘が卓球部だが、大会もすべて中止。学校公開も中止。こんな状況が続いている。

「オリンピックをやるのになぜ大会が出来ないのか？」との質問に親としてちゃんと回答できたのかと自問自答してしまう。

1日も早くこのような状況が終わって欲しいと願っている。

PTA活動は基本的に停止しているが、12月に委員会を開催すべく、来週打ち合わせ予定。しかし、どうしてもコミュニケーションが取れていないので、保護者同士が打ち解けていない状況がある。今年度はだいぶ役員が入れ替わった経緯もあり、コミュニケーションの機会を増やすようにしていきたい。

去年入学式が出来なかった子供向けにPTA活動として写真を撮ってアルバムにする事で子供にも保護者にも喜ばれたので、今後もそのような活動ができればと考えている。

【11中】

小学校と比較して保護者が関わる機会がないとの感想を持った。

PTAとして学校訪問の際に、校内の子供たちが元気に過ごしている点は保護者としても安心を感じている。保護者にとっても子供たちにとっても2年目のコロナでもあり、1年目は何かわからない状況の中で、何でもかんでもがなくなってしまったが、2年目は色々な工夫をしながら、できることを探して前向きにコロナと向き合っていると感じている。

1年目には体育の授業は自宅の前で縄跳びをする、と言う指導があっても、実際にやっている子供がどれほどいるのか？と考える事もあったが、学校が始まって、子供たちが集まって刺激を与えあう事で一気に解決に向かうさまを見て学校の重要性を感じている。

子供たちのために賛否両論あるところだが、新型コロナに立ち向かう工夫力が生きる力だと感じている。

前島委員

ICTの活用状況について

弘道小は3年生以上は全員へ配布して持ち帰りも実施して活用しているが、1、2年生はまだ難しいと考えている。落として壊したとなると学校予算で修理となっている。

リモート学習の良さもあるが同じ場所で学べる環境が大事と考えているので使い方を考える必要性を感じている。

【第4中】

授業での活用は世の中で言うリモート学習と一言で言うが各学校によってさまざまだと考えている。つい先日まで、リモート学習を選択した生徒と登校学習を選択した生徒で分かれて実施した。学校でできるのは、スキルを持った先生がいる場合は別だろうが、当校の方法は固定カメラによるライブ授業発信でしかない。3年生が3日間リモート学習方式をした。この場合教員の方もリモート授業の準備をして実施したので、一定の効果があつたと考えている。しかし、固定カメラのライブ発信方式は緊急避難的な試みであつて、教育効果があるとは判断できないという点を保護者に案内して極力学校に当校して授業を受ける方針としている。タブレットは授業中にも活用している。活用としてはできていると考えている。

【弘道小】

足立区は来年度 AI ドリルを採用するので、来年度から更に活用は進むと思っている。

【櫻田委員】

良い点

手洗いうがいの習慣化

中学生には自ら考えるウイズコロナになっている

悪い点

体力低下

外遊びや交流機会の喪失

集団生活から学ぶ経験

TikTok 問題

毎日の楽しみの時間の喪失になっている黙食の工夫をして欲しい

6. 総括、講評 足立区青少年委員会副会長 高橋 将郎 委員

7 期目 15 年委員を務めて長年地域との付き合いをしている。

さまざまな様子を聞かせていただいた感想として、しっかりと子供、地域と向き合っていて下さっていると感じた。

キッズニアの活動は自分が PTA 役員時代に始めた活動で今も続いている。子供のため、学校のため、地域のため、足立区のために考えていくことも必要。

お母さんたちのバレーボール大会、なでしこカップを作って、大会を通じて現場に出て地域のためになることを考えてきた。

青少年委員会としても、鋸南、日光、魚沼にも日帰り研修をして現場での知見から、学校生活、地震発生時の避難生活など、万が一の災害発生時の活動にも活かせる体験も含めて考え、委員会として活動していくので、学校や PTA も所属の青少年委員を最大限に利用して欲しいと願っている。

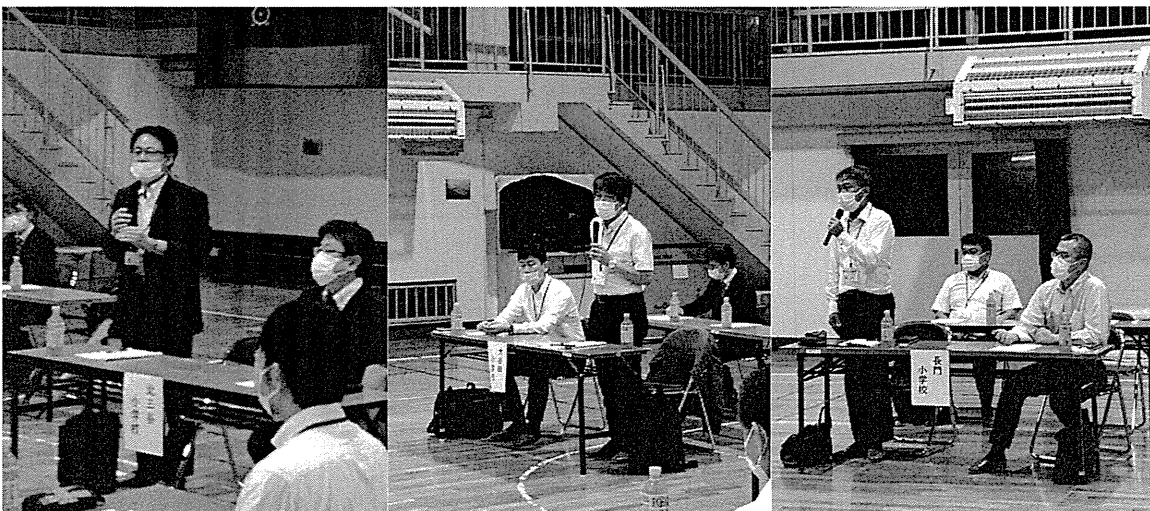
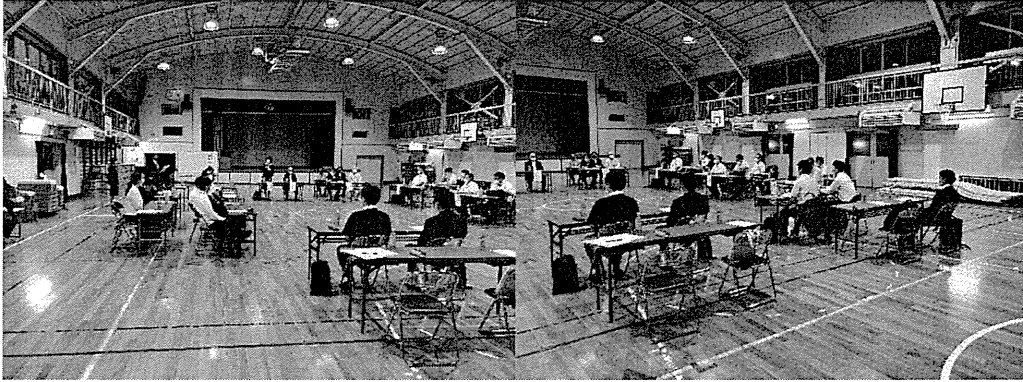
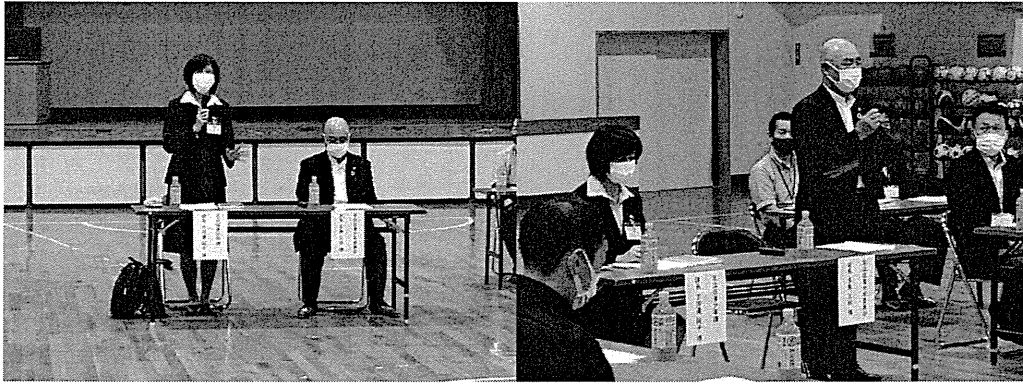
7. 閉会の辞 三國 美香 委員

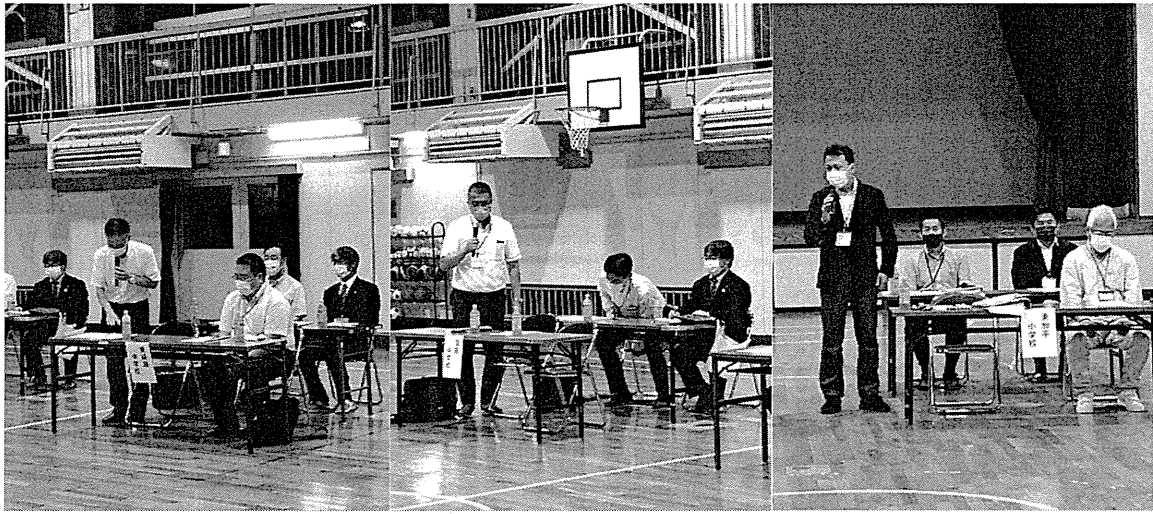
時間超過についてのお詫びとともに新人委員の紹介。

閉会の宣言。

令和3年度 足立区青少年委員会 第6ブロック教育懇談会

開 催 日	令和3年7月2日	会 場	東加平小学校 体育館																											
時 間	19時00分～20時00分																													
参 加 者	足立区青少年委員会 会長 多島 三好 氏 足立区青少年課 課長 下河邊 純子 氏 綾瀬小学校・東綾瀬小学校・東加平小学校・東淵江小学校 北三谷小学校・大谷田小学校・長門小学校・東綾瀬中学校 蒲原中学校 【9校の校長・副校長・PTA会長・青少年委員】 計33名																													
会議次第	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">司会・開会</td> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 25%;">石川委員</td> </tr> <tr> <td>主催者挨拶</td> <td>6ブロック長</td> <td>天野倉 典子</td> </tr> <tr> <td>来賓紹介</td> <td></td> <td>石川委員</td> </tr> <tr> <td>来賓挨拶</td> <td>足立区青少年課 課長</td> <td>下河邊 純子 氏</td> </tr> <tr> <td></td> <td>足立区青少年委員会 会長</td> <td>多島 三好 氏</td> </tr> <tr> <td>各学校紹介</td> <td></td> <td>各校長先生よりひと言頂く</td> </tr> <tr> <td>講評</td> <td>東加平小学校 校長</td> <td>田中 岳晴 氏</td> </tr> <tr> <td>閉会</td> <td>足立区青少年委員会 副会長</td> <td>高橋 将郎 氏</td> </tr> <tr> <td>記録</td> <td></td> <td>田島委員</td> </tr> </table>			司会・開会		石川委員	主催者挨拶	6ブロック長	天野倉 典子	来賓紹介		石川委員	来賓挨拶	足立区青少年課 課長	下河邊 純子 氏		足立区青少年委員会 会長	多島 三好 氏	各学校紹介		各校長先生よりひと言頂く	講評	東加平小学校 校長	田中 岳晴 氏	閉会	足立区青少年委員会 副会長	高橋 将郎 氏	記録		田島委員
司会・開会		石川委員																												
主催者挨拶	6ブロック長	天野倉 典子																												
来賓紹介		石川委員																												
来賓挨拶	足立区青少年課 課長	下河邊 純子 氏																												
	足立区青少年委員会 会長	多島 三好 氏																												
各学校紹介		各校長先生よりひと言頂く																												
講評	東加平小学校 校長	田中 岳晴 氏																												
閉会	足立区青少年委員会 副会長	高橋 将郎 氏																												
記録		田島委員																												
テ ー マ	自己紹介																													
<p>[懇談会記録]</p> <p>令和2年度はコロナの関係で開催が出来なかったが、令和3年度については感染対策を十分に考慮し、且つ時間短縮の事も考え自己紹介形式で行われた。</p> <p>最初に青少年課課長の下河邊様よりご挨拶を頂き、青少年委員会会長の多島様からもご挨拶を頂いた。その後、各学校紹介という事で、各校長先生より現在の状況及び今後の学校行事（周年等）の報告・連絡を頂いた。最後に青少年委員会副会長の高橋様より閉会の言葉を頂き、短時間にて終了となる。</p>																														





令和3年度 足立区青少年委員会 第10ブロック教育懇談会

開催日	令和3年12月8日	会場	六月中学校 多目的ホール
時間	18時30分～20時00分		
参加者	青少年委員会（多島会長） 教育委員会青少年課（下河邊課長） 渚江小学校、渚江第一小学校、保木間小学校、西保木間小学校、 竹の塚小学校、中島根小学校、渚江中学校、六月中学校、竹の塚中学校 各学校の校長、各PTA会長、PTA副会長 第10ブロック青少年委員（橋本、人見、大西、武田、吉田（雅）、 芦川、小林、吉田（弓）、高橋） 参加者 29名		
会議次第	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">司会 人見 委員</div> <ol style="list-style-type: none"> <li style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;"> 1. 開会のことば 武田 委員 <li style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;"> 2. 青少年委員会第10ブロック長挨拶 橋本ブロック長 <li style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;"> 3. 足立区青少年課 課長挨拶 下河邊 純子 様 <li style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;"> 4. 青少年委員会会長挨拶 会長 多島 三好 様 <li style="margin-bottom: 10px;"> 5. 議 題 <li style="margin-left: 20px; margin-bottom: 5px;">① テーマ「コロナ禍での学校の様子やPTA活動」 <li style="margin-left: 20px; margin-bottom: 5px;">② 各学校自己紹介を兼ねて近況報告 <li style="margin-left: 20px; margin-bottom: 5px;">③ 質疑応答 <li style="margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;">④ 講 評 六月中学校 校長 塚原 洋 様 <li style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> 6. 閉会のことば 大西 委員 		

[懇談会記録]

例年であれば講師をお招きし、地区対など地域の方々にも参加いただくところですが、今年度は校長先生・P T A会長、青少年委員のみでの開催となりました。

緊急事態宣言が解除され、段階的に制限が緩和されてきましたが、引き続き感染対策を徹底し、時間を短縮して、自己紹介、顔合わせを兼ねて、各学校の様子や取り組み、P T A活動についてお話をさせていただきました。

◎ 各校長先生からのお話し

各校、延期や縮小していた行事が少しずつ行えるようになった

- ・ 鋸南自然教室、日光移動教室、魚沼自然教室など一泊二日の宿泊学習
 - ・ 体育学習発表会、記録会など各校通常行事に準ずる行事が行なわれた
- 子どもたちの楽しそうな様子や一生懸命取り組む様子がみられた

各校「コロナ禍で出来ることを」を目標に、挨拶運動やボランティア、リモートによる授業公開など行っている。コロナで休校や分散登校になったことで、改めて学校教育の大切さが再認識できた。学校で学ぶことの大切さ、先生・友達と繋がることの大切さなど

◎ 各P T A会長からのお話し

- ・ 各校P T Aでは、ほとんど活動ができていない
- ・ 活動が初めてでやり方がわからず、手探りの状態
- ・ 今後引き継いでいけるか心配

このような中、資源ごみの回収や積極的にボランティア活動をおこなう学校もある子どもたちのために、これだけはやりたいということをや、無駄を省いた誰でもできる活動を目指しているP T Aもある

・ コロナ禍でもP T A役員の選出がありどの学校も現状は厳しい。その中で、選出方法の模索や変更を各学校がしていて3年、5年先にも快く役員を受けてもらえるような選出方法を考えている学校が多数あった。

◎ 質疑応答

- ・ P T A会長から、L I N Eなどを用いた役員同士の連絡の取り方について、積極的な質問があり、L I N E連絡の時間指定やW i - F iの使用など、今後はペーパーレス化し、デジタル化していく方向性がみえた
- ・ いじめ、別室登校について質問があった
いじめは本人がいじめられたと感じたら、それはいじめとなる
中学校には別室登校があるが、他にもその子にあったやり方や取り組みがある
別室でも学校に来ることが大切
生徒・保護者・学校が連携し、不登校を増やさない

◎ 六月中学校 塚原校長先生の講評

今回の懇談会は貴重な時間で勉強になりました。コロナ禍という事で情報の共有が中々できない中、有意義な会になりとても良かったです。

コロナの影響で開催を迷いましたが、出席してよかったと皆さんに言って頂きました。なかなか自校以外の情報を得ることが難しい時期でもあったので、情報を共有することが出来てとても良かったと思います。今後も学校、地域と連携し、青少年の健全育に積極的に協力していきたいです。

令和3年度 足立区青少年委員会 第12ブロック教育懇談会

開催日	令和3年7月10日(土)	会場	鹿浜いきいき館
時間	午後2時～午後3時30分		
参加者	足立区教育委員会 青少年課管理調整係長 白石光洋様 足立区青少年委員会 会長 多島三好様		
	[小学校]		
	学校	校長	青少年委員
	鹿浜第一小学校	中郡 英一	原田 勉
	北鹿浜小学校	鹿俣 昇	渡邊 淳子
	鹿浜西小学校	山下 宗孝	高橋 進
	鹿浜五色桜小学校	土田 恵美子	横山 良和
	皿沼小学校	加藤 雅弘	浅香 一浩
	[中学校]		
	学校	校長	青少年委員
鹿浜菜の花中学校	沖山 房人	松崎 顕治	
加賀中学校	森田 卓司	太田 安昭	
[小中一貫校]			
学校	副校長	青少年委員	
新田学園	畠山 芽含	諏訪 法和	
会議次第	[司会] 足立区青少年委員 高橋 進 開会の辞 足立区青少年委員 太田 安昭 主催者挨拶 足立区青少年委員12ブロック長 浅香 一浩 来賓挨拶 足立区青少年課管理調整係長 白石光洋様 会長挨拶 足立区青少年委員会会長 多島三好様 自己紹介 進行 足立区青少年委員 松崎 顕治 足立区青少年委員 渡邊 淳子 閉会の辞 足立区青少年委員 諏訪 法和		
テーマ	コロナ禍にある学校現場の取り組み		
[懇談会記録] 令和3年度の足立区青少年委員会第12ブロック教育懇談会は「コロナ禍にある学校現場の取り組み」をテーマとして、ソーシャルディスタンスの確保を徹			

底した中で開催をいたしました。このため、例年であれば、各校の校長・副校長・PTA会長にも参加いただくところではありますが、今年度は、校長・青少年委員のみでの開催となりました。

本会の進行は、青少年委員進行担当からの指名により、各校の校長から、コロナ禍における各校の取組みや工夫ある対策等を発表していただきましたが、各校とも、コロナ感染防止対策に積極的に取り組んでいることから、現段階におけるコロナ感染症に係る不登校や欠席者はゼロという状況にありました。

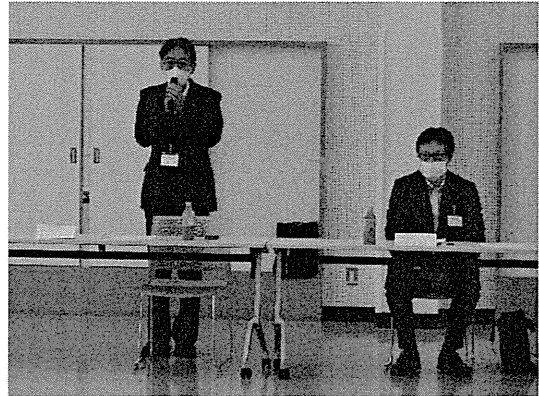
各校共通の感染症予防対策としては、①正しい手洗い、②検温・換気、③ソーシャルディスタンスの確保を徹底するための取組みであり、具体的な対策として、登校時の検温カードによるチェック、図書室入出時や専科前後の手洗い徹底、廊下のドアと校庭側の窓を開けた換気の徹底などを図っている他、教室内のロッカーを廊下へ移動し、児童の間隔を1メートルに保つためのソーシャルディスタンス対策などについての発表がありました。また、④コロナ感染症を正しく理解し、児童・生徒達が自ら身を守る力を着けさせるための教育、⑤コロナいじめ防止の観点から、心を育てる教育などにも力を入れているなどの各校の特色ある取組みや、Zoomを活用した施策（運動会の様子をZoomで保護者へ配信）、水道の蛇口をレバー式へ変更、電子キーボードの導入、分散登校などについても紹介がありました。

コロナ禍における懸念点としては、体育の授業中はマスクを外すように指導をしているが、習慣なのか、保護者が心配しているためなのか、マスクを外さない児童・生徒が多くおり、熱中症に対する対策にも取り組んでいる状況にあるとの事でした。また、マスク着用が習慣となったことから、教職員や児童・生徒の顔や表情が分かりづらく困っているとの意見もありました。

今回の教育懇談会を通じて、各校のコロナ禍における様々な取組みや苦労を詳細に把握することができた事は、我々青少年委員にとっても大変有意義な会となり、また、学校としても地域の支援リーダーである青少年委員からのサポートを期待していることを改めて実感いたしました。

《教育懇談会の様子》

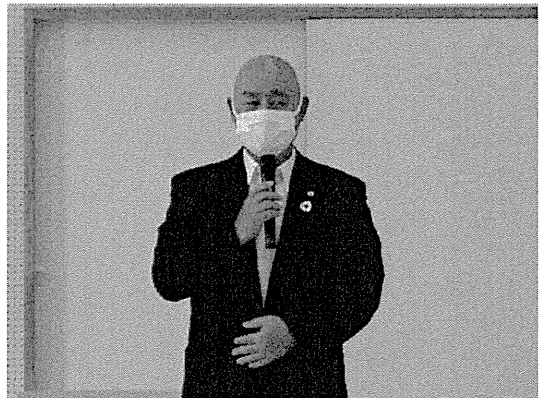
浅香ブロック長の挨拶



白石係長の挨拶



多島会長の挨拶



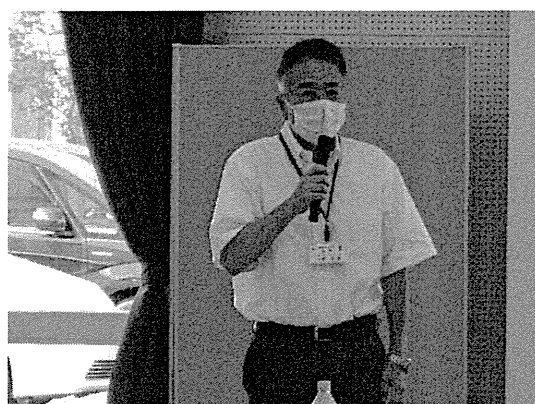
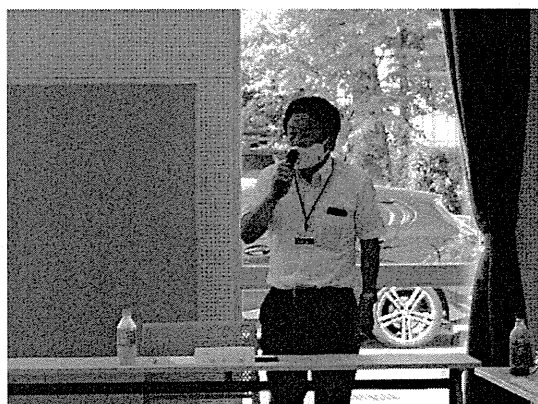
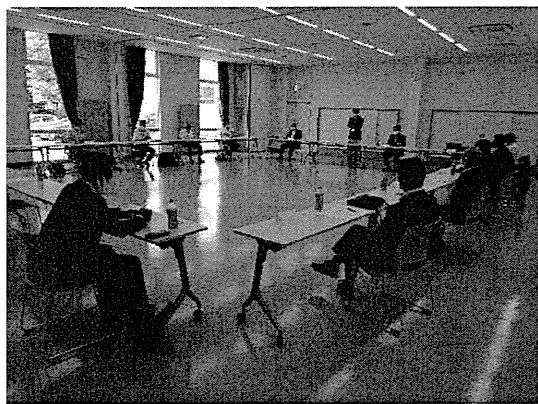
進行担当の松崎委員と渡邊委員



司会の高橋委員



懇談会の様子



以上

令和3年度 足立区青少年委員会 第13ブロック教育懇談会

開 催 日	令和3年12月14日	会 場	古千谷小学校体育館
時 間	17:00～		
参 加 者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年課 下河邊 純子課長 ・ 青少年委員会 多島 三好会長 ・ 足立区立舎人小学校 ・ 足立区立舎人第一小学校 ・ 足立区立足立入谷小学校 ・ 足立区立古千谷小学校 ・ 足立区立入谷中学校 ・ 足立区立入谷南中学校 		
会議次第			
テ ー マ	コロナ禍での教育活動の現状・課題・展望		
<p>[懇談会記録]</p> <p>令和3年度はコロナ禍の中感染対策を十分に注意してソーシャルディスタンスの確保を徹底し、青少年課・下河邊課長、青少年委員会・多島会長をお招きしてテーマ「コロナ禍での教育活動の現状・課題・展望」に各校5分程度の発表で古千谷小学校体育館にて教育懇談会を開催いたしました。</p> <p>各校、足立区の感染対策に従い、状況に合わせて、取り組みを進めている。制限がある中でも子どもの学び・活動を大切にしてまだ心配なこともありますが、保護者、地域の方々のご理解、ご協力をいただき学校教育の取り組みについてお話をいただき、短時間ではありましたが貴重な情報交換ができました。</p> <p>この2年間、新型コロナウイルス感染症の影響で直接お目にかかることが少ない状況で顔合わせができたことは有意義で充実した教育懇談会ができました。.....</p>			